

# 「生活支援体制整備事業」



～それぞれの地域で、取り組みが始まっています～

「生活支援体制整備事業」は、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、住民主体の助け合いや交流の場づくりをはじめとした様々な活動・取り組みの充実に向けて、地域づくりを行っています。

## 田原中部・衣笠・田原南部・童浦小学校区

田原南部小学校区では、3月15日に市民館で自治会長、民生委員、ボランティアの方などと第1回ふれあいネットワーク会議を開催しました。南部校区の白地図へ地域の良いところやお店、自然、参加者の各々の活動などを書いた付箋を貼りながら、校区の素敵などを再確認しました。

田原中部・衣笠・童浦小学校区では、シルバーサロンなどに出向き、地域の様々な情報を教えていただきました。



ふれあいネットワーク会議の様子

## 東部中学校区

田原東部小学校区では、3月19日と4月16日の2回、市民館で自治会長、民生委員、ボランティアの方などと井戸端会議を開催しました。井戸端会議の目的は、校区の良いところを参加者の皆さんで共有し、ご近所の輪を広げることです。井戸端会議は毎月1回開催を予定しています。

大草小学校区では、住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられることを目的に、誰でも参加できる活動や集まりをまとめた冊子「大草校区健康づくりと趣味の情報シート」を作成し、4月1日に校区内に全戸配布しました。



## 赤羽根・泉中学校区、野田小学校区

野田小学校区では、平成27年度に作成した「お店・業者一覧・地図」の見直しのため、高齢者支援センターの職員と協働でお店等を訪問しました。

赤羽根小学校区では、地域の課題解決を考える「赤羽根地区まちづくり推進委員会」に参加し、参加者から地域の様々な情報を教えていただきました。また、各市民館や地域の集まりに出かけ、介護予防や介護の悩みなど相談できる場所の紹介を行いながら、地域の様子を知る機会を持ちました。

## 福江中学校区

旧伊良湖岬中学校区では、堀切マップ（情報冊子）の更新・作成を社協高齢者支援センターと協働で行いました。

市民館で地域の活動や教室を教えていただき、地域の課題を話し合う機会を持ちました。

高齢者が集まっている場所に出かけ、お話をしながら地域のことを把握できるよう、まずは地域の中を歩くことから始めています。

